

# オープンイノベーションに向けた 《新しいインターンシップ》のかたち

2018.10.18

木

14:30開始

入場無料

於 東京工業大学 蔵前会館 くらまえホール(東京工業大学大岡山キャンパス構内)

## 登壇者のご紹介

### 基調講演

## 『イノベーションを見る眼・生み出す力』

講師：一橋大学大学院経営管理研究科・イノベーション研究センター 教授

軽部 大氏



一企業研究でのイノベーション創出の鍵とは一  
社会の周縁から多様な資源を巻き込んでイノベーションを創出するメカニズムとプロセス  
への洞察を通して、イノベーション研究の第一人者、軽部大氏が新しい市場の創出・  
企業の自己革新の可能性を語る！

#### □■略歴■□

一橋大学大学院経営管理研究科・イノベーション研究センター教授。

1998年一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。博士(商学)を取得。同年、東京経済大学経営学部専任講師。2002年一橋大学イノベーション研究センター助教授、2007年准教授を経て、2017年4月教授兼一橋大学大学院商学研究科教授。2018年4月より現職。専門はイノベーション研究、戦略論、および経営組織論。

大学での研究・教育活動の他、中間管理職および経営トップへの助言も日々行っており、科学技術庁政策研究所第一研究グループ客員研究官(1999年度、2000年度)、科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業(CREST)領域アドバイザー(2016年、2017年)などを歴任。組織学会高宮賞(論文部門)(1998年・2003年)、第55回(2012年)日経・経済図書文化賞を受賞している。最近の著作として『関与と越境：日本企業再生の論理』(有斐閣、2017年)がある。

### 大学報告

## 『イノベーションにおける数学界の役割』

講師：九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所所長\* 教授

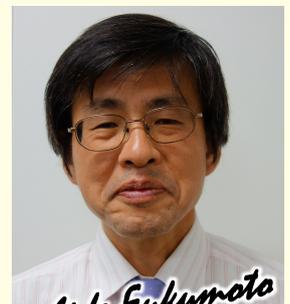
福本 康秀氏

現代社会を牽引する高度テクノロジーのほぼすべてにおいて、その本質的部分は数学を礎石としており、産業界からの要請に応じて純粋・応用数学を融合再編することがイノベーション創出の基盤となります。問題を十分抽象化することによってその抜本的な解決に導いたり、新しい概念を生み出す数学・数理科学の重要性が益々高まっています。

#### □■略歴■□

九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所所長\* 教授。(\*2018年9月まで)

1987年3月東京大学理学博士。1987年日本学術振興会特別研究員、1988年名古屋大学工学部助手、1995年九州大学大学院数理学研究科助教授、2002年同教授、2011年、同大学マス・フォア・インダストリ研究所(IMI)に配置換え、2014年10月～2018年9月IMI所長。文部科学省委託事業「数学アドバンスイノベーションプラットフォーム」の代表として、数学の異分野融合の取り組みを進めている。専門は流体力学、平成5年度日本流体力学会・竜門賞受賞。



### 参加お申し込み

下記のURL または 右のQRコードよりご登録ください。E-mailやお電話でも受け付けております。

<https://goo.gl/forms/7JYxuomSWzwmFnft2>



先着  
250名